



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年7月14日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般:4名(うち子ども0名)、

指導員:5名

テーマ 「季節の花を楽しもう」

前日の天気予報では雨ということでしたので、先月に続き花をテーマに観察することにしました。

まずは、種名に「カワラ」が含まれる植物に注目しました。高水敷に下りると立派なカワラサイコの株があり、たくさんの花を付けていました。莖の高さは30cmほどもあり、これだけ大きな株はそうは見られません。草地の端ではカワラマツバが咲いていました。細い葉の形状から「マツバ」と名付けられたのでしょう。近くに花はまだですが、カワラヨモギが生えていて、こちら細い葉に見えます。しかし、よく見ると1枚の葉が細かく切れ込んで



(クズの花を観察)

いるもので、カワラマツバとは葉の構造が違っていることが分かります。ちょっと見ではコスモスのようです。大野極楽寺公園との境では、カワラハハコが1株だけ見られました。少し上流の江南の川原では群生していますが、ここは草刈りのためか以前10株ほど見られたものが減ってしまいました。大野極楽寺公園では、カワラナデシコが咲いていました。昨年までは気付かなかったのですが、ヒメガマの繁っている池の南側に10株ほどが生えています。「グリーンデータブックあいち」には一宮での記録がありませんので、自生しているものかどうかは分かりませんが、これで、「カワラ」と名のつく植物が5種確認できました。

季節の花では、秋の七草のクズが咲いていました。咲き始めたばかりで、下から順番に先端に向かって開いていくことがよくわかりました。カワラナデシコの近くにはツリガネニンジン数株が花を付けていました。昨年、池の北側で見つけたものですが、南側にも少し見られました。こちらは「グリーンデータブックあいち」で一宮東部に分布が記されています。このほか、川原でメハシキ、公園でミソハギやハンゲショウの花を見ることができました。

花を見ている途中、アブラゼミが羽化しているところに遭遇しました。ヤナギの枝についた抜け殻の横にぶら下がり、翅を伸ばしているところでした。セミの羽化は通常は夜間に進むものですが、この日は曇り空で暗かったため、夕方と勘違いしたものでしょうか。いよいよセミの賑やかな鳴き声が聞かれる季節ですね。(齋竹)

<その他観察できたもの> 花: オオキンケイギク、ヒメジョオン、コウゾリナ、ニガナ、ブタナ、セイヨウタンポポ、アメリカナシカズラ、ネムノキ、シロツメクサ、ヤブカンゾウ、ヘクソカズラ、メマツヨイグサ、コマツヨイグサ、ミナトマツヨイグサ、メリケンムグラ、セッカニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、ニワゼキショウ、ツユクサ

鳥: カワラヒワ、ムクドリ、ツバメ、ハシボソガラス、スズメ、トビ、キジバト、オオヨシキリ(声)、ウグイス(声)、キビタキ(声)、コジュケイ(声) 虫: シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ショウジョウトンボ、ナミアゲハ、キタキチヨウ、ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、ヒメアカタテハ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、ウマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ、モンズメバチ、ショウリョウバッタ、クルマバッタ、ゴマダラカミキリ、キボシカミキリ、マメコガネ、ニイニイゼミ(声) その他: ウシガエル



りっぱなカワラサイコ



新顔のカワラナデシコ



今年も出たツリガネニンジン



風にアブラゼミ羽化